

研究実施のお知らせ

2018年5月16日 ver.1.0

2020年11月6日 ver.2.0

研究課題名：眼球形態・機能に関する疫学研究

研究の対象となる方

研究参加施設（島根大学医学部附属病院、松江赤十字病院、町立飯南病院、ますだ眼科クリニック、市岡眼科クリニック、市岡眼科）を受診し、研究方法に記載する眼球形態・機能計測を行い、あるいは、今後行う予定で、診療録上にその記録が残る方。

研究の目的・意義

昨今の眼科臨床における診断技術の向上により、眼球の形態あるいは機能について、より詳細な計測が可能となってきています。角膜、水晶体、網膜等の眼球各部位の厚さ、長さ、体積、角度、曲率半径、細胞数などの形態学的測定や、眼圧、視野といった機能的測定は、日常診療の中で広く行われています。通常、これらの測定値は、個々の症例について診断・治療に用いられるため、大規模に収集調査される機会はありません。本研究では、複数の診療機関から、多数の各種眼科計測値を収集し、測定値の分布について調査することで、日本人における正常値の範囲を規定することを目的としています。また、同時に、疾患データや治療データと比較することで、疾患・治療特異的な形態・機能異常値を同定することを試みます。そうすることにより、日本人、特に高齢人口の中での眼球各種測定値の分布、および疾患への関連について明らかとなる可能性があります。

研究の方法

各研究参加施設において、研究対象者の診療録を調査します。調査項目は、年齢、性、疾患名、各種形態計測測定（全屈折力、角膜屈折力、眼軸長、角膜厚、前房深度、水晶対厚、網膜厚、視神経乳頭径・陥凹径、隅角角度、網様体角度、瞳孔径等）、および各種機能計測測定（視力、眼圧、視野感度、網膜電図、黄斑色素密度等）についての測定値・撮影画像です。これらの抽出された情報はリスト化した後匿名化され、島根大学研究事務局に集められます。

研究事務局は、各施設から収集したデータをデータベース化し、測定値について、年齢、性、疾患、治療、他の測定値との関連を統計学的に解析します。

研究の期間

2008年10月27日（倫理審査承認後）～2028年3月31日

研究組織

この研究は次の機関が参加して行います。

研究代表者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部附属病院眼科 谷戸正樹参加研究機関

[研究機関]

島根大学医学部附属病院眼科 谷戸正樹（研究責任者）

松江赤十字病院 谷戸正樹（提供担当者）

町立飯南病院 谷戸正樹（提供担当者）

ますだ眼科クリニック・院長 柘田尚（提供担当者）

市岡眼科クリニック・院長 市岡 博 (提供担当者)

市岡眼科・院長 市岡 伊久子 (提供担当者)

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2028 年 3 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学 谷戸正樹

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278